

なごみ

nagomi



JA愛知厚生連

江南厚生病院

Vol. 35

2016.10

INDEX

コラム

- ① 腹腔鏡手術と術後早期回復プログラム(ERAS)
- ② 健康食品やサプリメントが手術に与える影響について
- ③ 当院の化学療法食「クローバー食」の紹介

トピックス

家族介護教室

動いて！もの忘れん教室

外来化学療法センターのご案内

平成28年夏の高校生インターンシップ

イベント紹介

院内コンサート

お知らせ

糖尿病食食事会のお知らせ

がんサロン「にじの会」のご案内

2016 公開医療福祉講座

保険証の確認について

面会時間のご案内

診療日カレンダー

病院理念

- ー. 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- ー. 私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- ー. 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

腹腔鏡手術と術後早期回復プログラム (ERAS)

～安心してください。すぐによくなりますよ。～



副院長兼 第二診療部長兼 外科代表部長兼 第二中央手術室部長

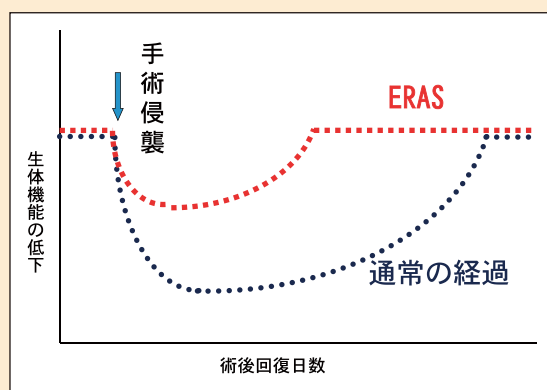
石樽 清

昨今では、消化器領域でも低侵襲手術として腹腔鏡手術がますます注目され、急速に普及しつつあります。従来の開腹手術と比べて小さな創ですむため、痛みが少なく整容性にも優れ、術後の回復も早いというのが腹腔鏡手術の特長とされます。当院でも、従来からの胆のう摘出術に加え、早期胃がんや局所高度進行例を除く大腸がんに対して、ガイドラインにもとづいて積極的に腹腔鏡手術を導入し、毎年着実に実績を伸ばしています。

一方で、腹腔鏡手術に関する重大な医療事故の報道も散見されます。群馬大学や千葉県がんセンターでの死亡事故報道は、比較的記憶に新しいところです。本来、腹腔鏡手術は侵襲を小さくするための手段のひとつのはずでした。それが一部の施設においては、腹腔鏡でチャレンジすること自体が宣伝目的になってしまい、本来なら適応外とされる高度進行例や高難度手術に対しても十分に効果と安全性が検証されることなく適応拡大され、本来の低侵襲性や安全性の確保がなおざりになっていないかが懸念されます。

ERASとはEnhance Recovery After Surgery : “手術後の回復を促進させる” という考え方で、今から20年程前に欧州を中心に広く普及しました。「腹腔鏡手術は低侵襲だから痛みは少ないし、離床も早いし、食事だって早く食べられる。だから早く退院できる。」とはよく言われますが、発想の転換で「痛みを十分にとって、離床を早くして、食事も早く始めればどんな手術でも早く回復する。」つまり、腹腔鏡手術だから早く回復するのではなくて、腹腔鏡と同じ術後管理をすれば早く回復するというわけです。

ERASの概念をイメージ化したのが(図1)です。手術という大きな侵襲が加わると生体の機能は急激に低下し、日数の経過とともに徐々に回復してもとの状態に近づきます。ERASではこの手術直後の落ち込みをできるだけ小さくして早期回復をはかります。ERASプロトコルは、すべて科学的根拠に基づいた21項目から構成されていますが、なかでも術後疼痛対策、早期離床、早期経口摂取に重点を置いています。食べることの重要性は今更ですが、「食」という字をよく見れば、確かに「人を良くする」と書きますからね。



(図1)

ERASは地道な術後管理で腹腔鏡手術のような派手な宣伝効果はありません。また、コメディカルを含めたチーム医療の総合力が求められます。しかし、こういう時代だからこそ、安全確実な手術手技とともにエビデンスに裏打ちされたERASの手法を今一度見直し、術後の早期回復に真摯に取り組んでいく必要があると考えています。



健康食品やサプリメントが 手術に与える影響について



薬剤部
今井 邦行

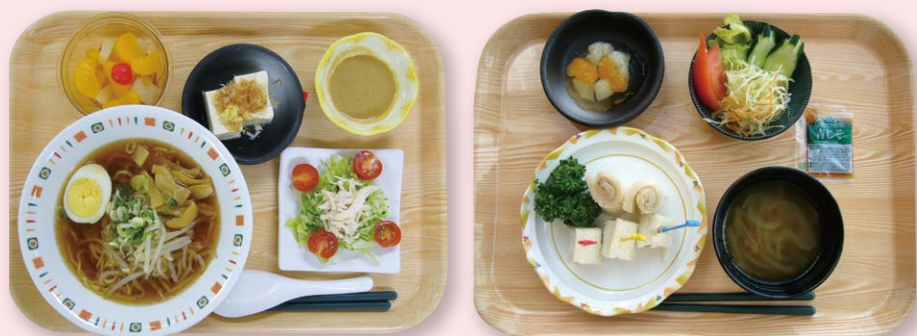
近年、健康志向の高まりを背景に、日常的に健康食品やサプリメントを利用する方が増加しています。日本人のおよそ5～6割の人が健康食品を使用していると言われています。現在では、様々な健康食品やサプリメントがドラッグストアやインターネットなどで手軽に購入できます。そんな、手軽に購入・使用できる健康食品ですが、なかには手術に影響を及ぼす可能性のあるものが存在します。例えば、イチョウ葉や魚油(EPA)などを含むものは、血液をサラサラにする作用があるので



で手術前にはやめておいたほうが安心だと考えます。他にも「血液をサラサラにする」や「血液の循環を良くする」と謳っている健康食品やサプリメントは、手術前には使用を控えるほうが良いでしょう。健康食品やサプリメントは「薬じゃないから別に言わなくていいか」と思われがちですが、もらさず医療スタッフに使用していることを申告するようにしてください。より安全な手術を受けるためにご協力をよろしくお願いします。

当院の化学療法食「クローバー食」の紹介

化学療法の副作用で食欲不振に悩まれる患者さんは多くみられます。当院では2010年7月より、がん化学療法中の入院患者さんを主な対象に、がん化学療法時の食事（化学療法食）の提供を開始しています。当院の化学療法食は、花言葉の「愛・希望」から「クローバー食」の名称でこれまで多くの患者さんに提供されてきました。クローバー食は、化学療法で入院された患者さん約100名へのアンケート結果をもとに、「食欲の無い時でも比較的食べ易い」と意見が多かった料理を中心に献立が構成されています。その為、「食べ難かった食事でもクローバー食に変えたことで食べ易くなった」という嬉しいご意見をいただく機会もあります。化学療法に伴う食欲不振が続くと、栄養状態の悪化だけでなく、闘病意欲の低下にも繋がりが易くなってしまいます。食欲不振が治療の妨げにならないよう、食べることを通じて今後も引き続き治療の手助けができれば良いと思っています。





家族介護教室

江南市では介護中の方、介護に関心がある方を対象に家族介護教室を開催しています。8月20日には、現在介護中の方を対象に『「私が後悔しない介護をするために」～介護における怒りのコントロールの仕方～』と題して、アンガーマネジメントファシリテーターであり、当院看護師でもある楓 淳よりお話をさせていただきました。勉強会では「怒りのピークは6秒しか持たないので、6秒待つ魔法の呪文を唱えましょう」など具体例の紹介もあり、皆さん真剣に聞き入っていました。その後、介護者同士での交流会が行われ、「経験者だからこそ安心して話しができた」とのご意見がありました。



江南市では年6回の家族介護教室を実施しております。開催時期や申し込み先は毎年異なりますので詳しくは「広報こうなん」をご確認ください。また認知症の方を介護されている方は江南市認知症家族会もありますので、興味がある方は是非お問い合わせください。

問合せ先：江南中部地域包括支援センター（TEL 0587-51-3322）

動いて！もの忘れん教室

6月7日から全8回、江南市から委託を受けて「動いて！もの忘れん教室」が当院講堂にて開催されました。24名の方が参加され、当院で働く各専門職の視点からみた認知症予防の講演と、頭と体を使った運動を行いました。「楽しむことができました」とのご意見をいただき好評のうちに無事終了しました。



イベント紹介

院内コンサート Concert

6月15日
(水)

演歌コンサート

春日八郎さんの「木曾の舟唄」の作詞家である奥村鋭男さんらにお越しいただき、心にしみる演歌、日本舞踊を披露いただきました。懐かしい曲目に皆さん心がなごむ時間を過ごしてみえました。



7月20日
(水)

ミュージックベルコンサート

Mrs.ティンカーベルによるミュージックベルコンサート。音楽を奏でるだけでなく、みんなで歌ったりダンスを取り入れたり、視覚的にも楽しませて患者さんを魅了していました。



8月24日
(水)

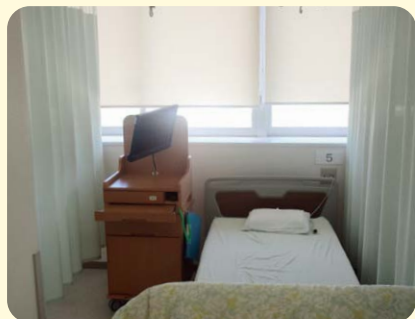
ヴァイオリンコンサート

こどもたちによるヴァイオリンコンサートが開催されました。特徴的なヴァイオリンの音色で、会場はさながらコンサートホールのようにでした。一生懸命に弾く姿がとても印象的でした。



外来化学療法センターのご案内

外来化学療法センターは、外来通院で化学療法（抗がん剤によるがん治療）を行うところです。『化学療法』と聞くと不安に感じてしまう方もいらっしゃるかと思います。また、自宅療養では近くに医療者がいないため不安を抱く方も多いと聞いています。そのため、外来治療が始まる前に看護師が外来化学療法のオリエンテーションを行い、どのような場所で治療を受けるのかを知っておくこと、また、自宅に帰る上で心配なことや不安なことなどを確認し、病棟と連携を行いつつ、外来治療の支援を行っています。治療日には、診察前に看護師が副作用の程度や自宅での生活の様子をお伺いし、主治医、薬剤師などと連携して解決策を検討し、帰宅後の治療生活を安心して送っていただけるように支援しています。



ベッド8台、リクライニングベッド7台の計15台を使用し、カーテンでプライバシーを確保して、静かに落ち着いた環境で治療を受けられるようにしています。

このように、がん化学療法看護認定看護師をはじめとする専任スタッフが、患者さんの思いに寄り添い、治療と日常生活を安心して過ごせるように看護の視点からサポートしていきます。



江南厚生病院看護部

平成28年夏の高校生インターンシップ

当院では地域の高校生を対象に、毎年夏休み中にオリジナルインターンシップを開催しています。今年は7月27日・8月23日に開催し、2日間で51名の高校生が参加しました。白衣に着替え、BLS（一次救命処置）や手指衛生、血圧測定などの実践を行いました。また、ベッドサイドでの看護ケアを通して、患者さんとも触れ合いました。「ありがとう」という言葉に感動した」「赤ちゃんを抱っこして命の大切さを感じた」「看護師になるために頑張ろう」などの感想が聞かれ、有意義な夏休みの一日となりました。また、8月3日には、都道府県ナースセンター主催の高校生1日看護体験研修も開催し、34名の高校生が参加しました。



糖尿病食食事会のお知らせ



みなさん、糖尿病の食事療法はうまくいっていますか？食事療法は、実際に食べてみるのが一番です。毎年恒例の糖尿病食食事会を下記のように企画しましたので、奮ってご参加ください。当院の患者さんとご家族の方以外の方にもご参加いただけます。

- 日 時：平成28年12月3日(土)
11:30～13:00頃まで
 - 場 所：江南厚生病院 2階講堂
 - 費 用：600円 当日受付でお支払いいただきます
(混雑防止のため、おつりのないようにご準備ください)
 - 予約期間：10月3日(月)～定員60名になり次第終了
- ※不明な点は内科外来17番 看護師にお尋ねください

準備の都合上、予約制とさせていただきます。予約は、下記予約期間に内科受付にて行いますが、定員になり次第締め切りとなりますので、ご了承ください。

※電話予約：TEL (0587) 51-3333 (代表)
→内科受付におつなぎします

(電話での予約は平日13:00～16:00に限定させていただきます)

平成28年度 仲間やがんに詳しいスタッフと不安や悩みを語り合いませんか？ がんサロン「にじの会」のご案内

- 対 象 がんを患っている患者さん
あるいは、そのご家族
- 内 容 10:00～10:30 プチ講座 (2か月毎に内容を変更します)
10:30～12:00 参加者同士の交流会

●日程とプチ講座のテーマ

日時(予定)	テーマ(仮)	担当
10/1(土)、 11/1(火)	がん治療中の筋力維持の工夫	理学療法士
12/3(土)、 1/17(火)	がん治療と仕事との両立の工夫	当事者 & MSW

- 場 所 外来2階 多目的室 ※外来用エレベーター前
- 参加方法 自由参加

<問い合わせ先> がん相談支援センター
TEL (0587) 51-3346 FAX (0587) 51-3317
E-メール: gansodan@konan.jaaikosei.or.jp

参加費
無料

2016 公開医療福祉講座

- 場所：江南厚生病院2階 講堂
- 時間：13:30～14:30
- 日程と内容

10月20日(木)	乳がんイベント *10:00～15:00 (*13:30～14:30公開講座あり)
HBOCの最近の動向 ～遺伝する乳がんについて～	乳腺内分泌外科部長 飛永 純一
10月24日(月)	江南厚生訪問看護 ステーション 「訪問看護」って どんなことをするの?
	所長 松本 暁美
11月24日(木)	腎臓内科部長 平松 武幸
12月13日(火)	リハビリテーション技術科 視能訓練士 おはなし 武藤 康司

お問い合わせは・・・江南厚生病院
「医療福祉相談室」野田・堀田 まで
TEL 0587-51-3333 (代表)

●保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

●面会時間の ご案内

平 日	土・日曜日・祝日
15:00～20:00	13:00～20:00

※多人数室の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。

※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

2016年(平成28年) 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です) ■ 午後休診

10月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

発行日/平成28年10月1日

発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL (0587) 51-3333 FAX (0587) 51-3300